

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名:「ハート・ブレイク・ストライク～あの娘と拳で語りたい～」

テーマ:「完全勝利確定なのに、主人公にチャンスを与えるぬるプレイな美少女」

キャラクター

35

ストーリー

40

テーマ(設定)

40

文章力

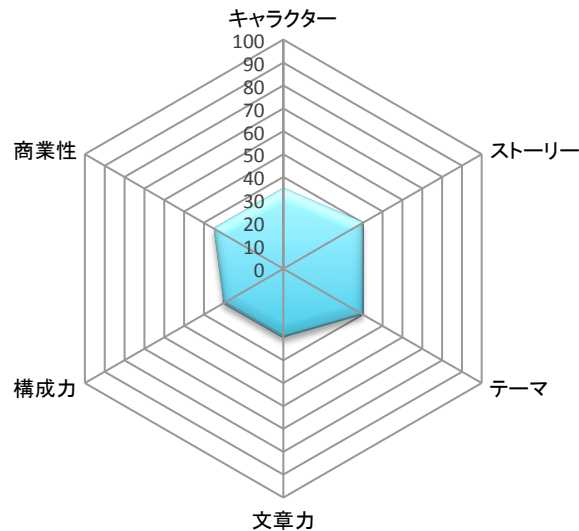
30

構成力

30

商業性

35



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- 文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・処女作ということで、この作品そのものよりも、今後どうしたらより面白い作品が書けるようになるのかという話をさせて下さい。
 ・ライトノベルにしては、文章が重くなっている。例えば、「瞬の着るボロボロに擦り切れた胸着は～」から「それが『大祭』の起源である。」までは、①パッと見て難しそうな文章 ②改行がほとんどない ③漢字も多く、辞書のような文章 ……の3点が揃った文章が続き、序盤にして読み手側の読む気力を削いでしまっている。まず最初に、難しい文章ではなく小学生でも分かるような文章のみを使って物語を記すこと、そして難しい文章で書くことは簡単だが簡単な文章で書くことは本当に難しいということを実感しながら書くことで、今後の筆力が一気にあがると考えられる。(特に会話が長い。蛍の長いセリフは半分以上削れると感じた場面もあった)
 ・ただその他の面において、処女作でこのレベルは驚愕。個人的には四季神といった良い意味で一厨二的な設定が非常に良かった。

合計加点ポイント: 0

総得点: 210 / 600

B方式総合得点: 7350 点